

仏様のおはなし新シリーズ第118集「本願招喚の勅命」

親鸞聖人はその主著『教行信証』に「歸命(きみよう)は本願(ほんがん)招喚(しょうかん)の勅命(ちよくめい)なり」とお示しく下さいました。

お念仏とは阿弥陀様がこの私を呼ぶ喚(よび)声であります。親鸞聖人はこの招喚の喚という字に「ヨバフ」と左側にカナで解釈をされています。これは「よぶ」という動詞に「ふ」という継続を表す言葉を合わせた言葉なのだと思います。ですから阿弥陀様のはたらきは一時的なものではなく、継続的にこの私にはたらきかけてくださっている。一度呼んだらおしまいでなく、喚び続けてくださっているという事です。

私には三人の子どもがいますが、ご飯を食べずにお菓子ばかりを欲しがり、やるべき事をやらずに遊んではかりそんな子どもに対して、毎日のように「何度言ったらわかるんだ」と、声を荒げています。

昨日いった事もすぐに忘れて同じことを何度も言わせる子どもたちについていっさい苛立ってしまい、怒るのも面倒になる事がよくあります。もう好きなようにして病気になっても知るかといった具合です。

そんな時にいつもこの「ヨバフ」という事を思い出します。阿弥陀様も同じように何度言ってもわからんこの私に、決してあきらめることなく何度も何度も喚んでくださってあったんだと。「真実に目覚めてくれ」「お念仏を申す

人生を歩んでくれ」と何度も何度も喚び続けてくださってあったからこそ、今ここに浄土真宗の御法(おみのり)に合わせていただけたんだと思うんです。

思えば自分も同じように、両親から「何度言ったらわかるんだ」と言われ続けている自分自身を振り返らせていただく日々であります。

浄土真宗本願寺派福岡組



福岡組

検索